

教科	国語	科目	論理国語	単位数	2単位	学年	2年	履修対象	全員
教科書・副読本		『論理国語』（筑摩書房）							
育成する資質・能力						評価の方法			
知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 思考力・判断力・表現力 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを深めることができるようにする。 主体的に学習に取り組む態度 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						知識・技能 定期考査 思考力・判断力・表現力 定期考査 主体的に学習に取り組む態度 授業態度・提出物・小テスト・課題考査 課題・発表などへの取り組み状況			
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1学期	① 架橋することば「アイオワの玉葱」（言語論）		◆学習活動 …人と世界を結ぶことばの働きを理解する ・「ことば」の性質を考察する。 ・言語と文化についての筆者の考えを読み取る。 ・日本語のことわざや慣用句と同じ意味を持つ表現をさまざまな言語から探し、表現の仕方の違いについて話し合う。						
	「物語るという欲望」（物語論）		・具体例とその意味を文脈に即して適切に読み取る。 ・筆者の主張を踏まえて、メディアで取り上げられているニュースについてどのような「解釈」がされているか考える。 ◆評価のポイント ・文章構成の型を意識している ・具体化と抽象化（一般化）を押さえている						
	② 日常の中の論点「地図の想像力」（情報論）		◆学習活動 …身近な物事を分析し、この仕組みを捉える ・情報の信頼性や情報自体の「意味」を吟味する姿勢を身に着ける。 ・様々な地図について、その特色を話し合う。 ◆評価のポイント ・読解を通して、必要な情報を関連付け自分の考えを広げることができる						
	③ 〈私〉のいる場所「近代の成立—遠近法」（近代論）実践2レポートを書こう		◆学習活動 …偏見や先入観にとらわれない議論のあり方を考える ・「近代」が生み出してきた思考や世界観について本文を読んで理解する。 ・「近代」について「主体」と「客体」として位置づけられたものにはどのようなものがあるか、またその区分はどのような問題を作り出したか、関心のある領域について調べ、レポートにまとめる。 ◆評価のポイント ・「近代」という時代の歴史的成り立ちを理解し、思考の既存の枠組みについてを考えられる ・レポートを書き、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場を明確にして主張を支える根拠をそろえることができる						
	④ 変貌する時代、変貌する人間「人新世における人間」（社会論）		◆学習活動 …ことばと社会の関係を意識する ・科学者たちが提唱した「人新世」という新しい語が社会にどのような視点を提供したのか、本文を読んで考える。 ・事典などを用いて「地層」に基づく年代区分について調べ、まとめる。 ◆評価のポイント						

		・地球環境と人間のかかわりについて関心を持っている ・「人新世」に対する筆者の考えを読み取ることができる
2 学期	⑤ 歴史に向きあう 「日本の社会は農業社会か」（歴史論）	◆学習活動...時代の隔たりから得られる知を学ぶ ・「事実」に対してどのような態度を持つことが必要か、本文を踏まえてまとめる。 ・なぜ「新聞記者」たちは事実とは異なる記事を出してしまったのか、取材する立場になって理由を考える。 ◆評価のポイント ・「事実」に対する態度について考えることができる。
	⑥ 世界を視る位置 「ファンタジー・ワールドの誕生」（文化人類学）	◆学習活動...多面的な視点から文章を捉える ・本文を通してさまざまな立場・視点を整理して理解し、自分もその一員である社会を考察する仕方を学ぶ。 ・自分たちの旅行経験を、筆者の言う現代の「観光」のあり方の観点から振り返り、グループで気づいたことを話し合う。
	「生物の作る環境」（生物論）	・客観的とされる視点の裏に主観的な価値づけが入り込み得ることを理解する。 ・「環世界」と通常の客観的な環境の捉え方を比較して、その特徴と意義をまとめる。 ◆評価のポイント ・自分の持つ視点だけでなくさまざまなものの捉え方があることを理解する ・本文に基づき自分が考えたことを他者に伝えることができる
	⑦ 〈伝統〉を見つめなおす 「模倣と『なぞり』」（身体論） 実践2 小論文を書こう	◆学習活動...伝統を扱った文章を読み、書く力を鍛える ・具体例と対比を用いて書かれた筆者の主張を捉える。 ・「模倣」について自分のテーマを定め、「序論→本論→結論」という構成で論じる。 ◆評価のポイント ・文章の構成を意識して読める ・本文を参考に小論文を書き、構成や展開を工夫して自分の主張が的確に表現できる
	⑧ 現代という課題 「男の絆、女たちの沈黙」（ジェンダー論）	◆学習活動...日常に潜む問題を見つけ出す ・具体例を挙げながら現状の分析へと至る筆者の議論をたどり、自分の周囲で起こっている事象を捉えなおす。 ・「社会とは『（男）社会』であり」とあるこの（ ）内にはほかにどのようなものが当てはまるか、グループで話し合う。 ◆評価のポイント ・具体例に注目しながら、筆者の主張を読み取ることができる ・本文を読んで、自分の身近にある事象を、視点を変えて捉えることができる
3 学期	⑨ 〈私〉をひらくために 「『である』ことと『する』こと」（政治思想論） 「現代日本の開花」	◆学習活動...視野を広げ、自身の考えを見直す ・ことばを吟味することから、この社会の原理や原則を形づくることばが、どんな思想や行動に支えられているかという分析を突き詰める文章の手法を学ぶ。 ・生活の中にある「である」価値と「する」価値について、グループで具体例を挙げ話し合う。 ◆評価のポイント ・「『である』こと」「『する』こと」がどのように対比されているかを整理できる ・本文を踏まえて、自身の生活の中のさまざまな視点から見た価値観を再考できる

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】2学年全員（理系、文系、国際教養コース）
------------	--

教科	国語	科目	古典探究	単位数	2単位	学年	2年	履修対象	全員
教科書・副読本		精選古典探究 古文編・漢文編							
育成する資質・能力						評価の方法			
知識・技能 古典を読むために必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 思考力・判断力・表現力 古典作品の内容理解を深め、考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。 主体的に学習に取り組む態度 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						知識・技能 定期考査、小テストなど 思考力・判断力・表現力 定期考査、提出物など 主体的に学習に取り組む態度 授業態度、発表、課題考査、小テスト、提出物など			
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1学期	和歌を中心に、登場人物の心情を読み取ろう 伊勢物語「初冠」 大和物語「姨捨」		・話の展開と登場人物の心情を読み取る。 ・和歌の修辞法を理解する。 ・『大和物語』と『俊頼髓脳』について読み比べを行う。 評価のポイント ・和歌の修辞について理解できる。 ・和歌の表現も含めた本文から、登場人物の心情を理解できる。						
	内容を自分と関連付け、物の感じ方・考え方を広げよう 枕草子 「中納言参り給ひて」 「雪のいと高う降りたるを」		・筆者の美意識や感性を理解する。 ・当時の宮廷での生活や文化を学ぶ。 ・敬語を理解し、敬語に注意して人物関係を把握する。 評価のポイント ・敬語に注目し、登場人物の関係を理解できる。 ・筆者の感性を読み取り、現代に当てはめて自身のものの見方について考えることができる。						
2学期	日記を読み、作者の境遇や心情を的確に捉えよう 更級日記「門出」		・日記文学の概要を理解する。 ・作者の育った東国の生活について理解する。 ・物語へのあこがれも踏まえ、作者の門出にあたっての心情を読み取る。 評価のポイント ・古語・助動詞等の文法事項を踏まえ、内容を正確に読み取ることができる。 ・東国から都までの道のりを踏まえ、東国で育った作者の心情を読み取ることができる。						
	作り物語の内容を的確に捉え、理解を深めよう 源氏物語 「光源氏誕生」 史記 「四面楚歌」 漢詩		・『源氏物語』への理解を深め、興味・関心を高める。 ・当時の宮廷での生活や置かれた状況を理解し、登場人物の心情を読み取る。 ・敬語の用法を習熟し、人物関係の理解を深める。 評価のポイント ・敬語から登場人物の関係を把握できる。 ・時代背景を踏まえながら、登場人物の心情を読み取ることができる。						

	「鹿柴」	・ 古代中国の歴史や登場人物の魅力を味わう。 ・ 基本的な句法や語法を学ぶ。 ・ 詩形や押韻など、漢詩の構造を理解する。 ・ 漢詩に描かれた情景を読み取る。
3 学期	朗読を通して内容の解釈を深め、表現の特色について理解を深めよう 平家物語 「忠度の都落ち」 思想 「孟子」	・ 軍記物語の特徴や独特のリズムを理解する。 ・ 話のおもしろさや登場人物の魅力を味わう。 ・ 『平家物語』覚一本と延慶本を読み比べ、覚一本の編纂意図を考える。 評価のポイント ・ 軍記物語独特のリズムを、声に出して味わうことができる。 ・ 話の展開を押さえ、登場人物の人物像について考えることができる。 ・ 儒家や道家の思想を理解する。 ・ 表現の巧みな比喩に注目し、内容を読み取る。

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝ 4：4：2 【評価母集団】 2 学年全員
----------------	--

教科	国語	科目	文学国語	単位数	2 単位	学年	2 年	履修対象	文系全員 LAC 選択者
教科書・副読本		『文学国語』（数研出版）							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 文学的な文章を読み、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 思考力・判断力・表現力 文学的な文章について理解を深め、考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。 主体的に学習に取り組む態度 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					知識・技能 定期考査 思考力・判断力・表現力 定期考査 ペアワーク・グループワーク・発表・報告 主体的に学習に取り組む態度 授業態度・提出物・小テスト・課題考査 課題・発表などへの取り組み状況				
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	① 筆者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考える 「光の窓」		- 随筆につづられている筆者の感じ方や思いを読み取り、ものの見方を広げる。 - 自分の言葉と感覚との関係について、考えを深める。 - 自分の好きな絵を選んで、その絵の魅力を自分自身の感覚と関連付けながらグループで話し合う。 評価のポイント - 筆者の考えを読み取ることができる - 自分の感覚を言葉で表現することができる						
	② 登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える 「山月記」		- 表現から主人公の心情を考える。 - 小説に描かれた世界を味わい、そこに表された人間のあり方について考えを深める。 - 主人公の生き方についてどのように考えるか、グループで話し合う。 評価のポイント - 主人公の内面の葛藤を読み取ることができる - 主人公の生き方についてどう考えるか、自分と関連付けて話すことができる						
	③ 筆者の考えを表現に即して読み取り、「生きることと「言葉」の関係について理解を深める 「言葉を生きる」		- 評論に述べられた内容を的確に理解し、「言葉」の意義や特質について考える。 評価のポイント - 人間の生き方と言葉との関わりを読み取り、理解することができる						
	④ 戦争の中に生きる登場人物の生き方や考え方を捉え、人間の生と死について考えを深める 「沖縄の手記から」		- 登場人物の生き方、考え方について整理する。 - 描かれた人々の姿から、生きることへの考えを深める。 評価のポイント - 描かれた人々の姿から、人間の生と死について考えることができる						
	⑤ 言語活動「書評を書く」		- 気になった本を一冊選び、書評を書く。 - 友達の書いた書評と、そこで取り上げられた本を読み比べる						

2 学 期	⑥ 人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める 「こころ」	・主人公の心情を整理し理解する。 ・作品の主題を考察し、これまでの学習を生かして話し合う。 ・『こころ』と講演録（「現代日本の開化」）からうかがえる明治の時代性を考察する。 評価のポイント ・場面展開を整理することができる ・登場人物の性格を理解し、それぞれの場面での登場人物の心情を読み取ることができる ・時代背景を含めた主題について考察することができる
	⑦ 論の展開を踏まえて筆者の主張を捉え、詩の特質について考えを深める 「詩と感情生活」	・評論に述べられた内容を的確に理解し、「言葉」の意義や特質について考える。 ・詩の特質について筆者の考えを整理する。 評価のポイント ・詩の特質についての筆者の考えを読み取ることができる
	⑧ 短歌を読み、詩歌の表現を理解して味わう 「永訣の朝」・短歌	・句切れやリズムに注意しながら鑑賞する。 ・それぞれの詩、短歌で工夫された表現を確認し、感動の中心を考察する。 ・鑑賞文の作成、短歌俳句の作品創作をする。 評価のポイント ・工夫された表現に注目し、詩や短歌を味わうことができる
	⑨ 登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える 「山椒魚」	・状況の設定を理解する。 ・登場人物の関係や心情の変化を整理し理解する。 ・物語に込められた寓意性を考察し、自分自身の生き方や考え方に触れながら、文章にまとめる。 評価のポイント ・登場人物の心情の変化を読み取ることができる ・物語について、現代社会との関わりも含めて考察できる ・自分の考えを文章にすることができる
3 学 期	⑩ 寓意に注意しながら小説を読み、「現代」という時代について考えを深める 「鞆」	・物語の展開や状況の変化に注意して小説を読み、現代の社会を捉えなおす。 ・作品に込められた寓意性を考察する。 評価のポイント ・話の展開を整理することができる ・作品に込められた寓意性について考察することができる
	⑪ 場面ごとの設定を押さえて、その転換に伴う登場人物の状況や心情の変化を読み取る 「あの朝」	・物語の設定や場面を踏まえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 ・主人公と比較し、「なくすことで好きになったあれこれ」について、自分自身について振り返り、また発表しあう。 評価のポイント ・登場人物の心情を読み取ることができる ・物語を読んだうえで、自分自身について考えることができる
	⑫ 体例を筆者の主張との関係に注意して評論を読み、文学のよりどころについて理解を深める 「文学のふるさと」	・文章の構成や展開、表現の仕方に注目し、解釈の多様性について考察する。 ・本文に挙げられた物語について筆者の注目する点を読み取る。 ・筆者の主張を読み取り、まとめる。 評価のポイント ・筆者の主張する「文学のふるさと」とは何かを読み取ることができる

履修条件・注意事項等	【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】 2学年文系および国際教養コース選択者
------------	---

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	2単位	学年	2年	履修対象	全員
教科書・副読本	新地理総合(帝国書院)、新詳高等地図(帝国書院)、 新詳地理資料COMPLETE(帝国書院) 高等学校新地理総合ノート(帝国書院)								
育成する資質・能力						評価の方法			
知識・技能 世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理的な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 思考力・判断力・表現力 地理に関わる事象の意味や意義、特色を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、それらを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。 主体的に学習に取り組む態度 現代世界の地理的諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする自覚と資質を養う。						知識・技能 定期考査 提出物 小テスト 思考力・判断力・表現力 発問評価・グループワーク・発表・報告 主体的に学習に取り組む態度 授業態度 提出物			
期間	単元			主な学習活動(指導内容)と評価のポイント					
1学期	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム 1節 地球上の位置と時差 2節 地図の役割と種類 第2章 結びつきを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域 2節 グローバル化する世界			地図の役割や有用性を理解すると共に、位置や分布などに着目して地図やGISの活用方法について考える。 国際社会における国家の役割を理解すると共に、位置や分布などに着目しながら地域間の様々な相互関係について考える。 様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解する。					
	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 1節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活 3節 世界の言語・宗教と人々の生活 4節 歴史的背景と人々の生活 5節 世界の産業と人々の生活 第2章 地球的課題と国際協力 1節 複雑に絡み合う地球的課題 2節 地球環境問題 3節 資源エネルギー問題 4節 人口問題 5節 食料問題 6節 都市・居住問題			世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境に影響を与え、多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 場所や人間と自然の関わりなどについて着目して、世界各地の生活文化の特徴を理解し、その多様性の背景や変化の理由について考える。 他地域との結びつきや地域の特徴などに着目しながら、持続可能な社会をつくるために、今後どのような取り組みが必要か考える。 現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的の考察し表現する 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。					
3	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災			我が国を中心にして、様々な自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性					

学期	1節 日本の自然環境	などについて理解する。また様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付ける。 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。
	2節 地震・津波と防災	
	3節 火山災害と防災	
	4節 気象災害と防災	
	5節 自然災害への備え	
第2章 生活圏の調査と地域の展望		
	1節 生活圏の調査と地域の展望	

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】(知識・技能):(思考力・判断力・表現力):(主体的に学習に取り組む態度)= 4 : 4 : 2 【評価母集団】2 学年全員
----------------	---

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	3単位	学年	2年	履修対象	文系選択者・LAC 選択者
教科書・副読本		詳説世界史(山川出版)、史料集、一問一答、教科書準拠ノート							
育成する資質・能力						評価の方法			
知識・技能 世界の歴史に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料を活用する技能を身に付けるようにする。						知識・技能 定期考査・課題考査・提出物・小テスト			
思考力・判断力・表現力 世界の歴史について、現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、課題の解決を目指す力や、考察や構想、議論する力を養う。						思考力・判断力・表現力 定期考査・課題考査・提出物・グループワーク			
主体的に学習に取り組む態度 世界の歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。						主体的に学習に取り組む態度 授業への取り組み・提出物 グループワーク・発表・報告			
期間	単元			主な学習活動（指導内容）と評価のポイント					
1 学期	世界史へのまなざし			・砂糖とコーヒーなど、身近なものを事例として、自らと世界史のつながりについて考察、発表する。 ・文明誕生の基礎について理解したあと、古代オリエント文明や南アジア文明、中国の古代文明、南北アメリカ文明について比較することで、理解を深める。 ・中央ユーラシアや、中国をはじめとする東アジア文化圏についてモノや人の伝播などを通じたつながりを考察する。 ・南アジア世界や東南アジア世界について仏教やヒンドゥー教との関係を中心として考察し、現代とのつながりについてまとめる。 ・ギリシャ・ローマ世界について、キリスト教などを通して、相違点・類似点について理解を深める。					
	第1章	文明の成立と古代文明の特質							
	第2章	中央ユーラシアと東アジア世界							
	第3章	南アジア世界と東南アジア世界の展開							
2 学期	第4章	西アジアと地中海周辺の国家形成							
	第5章	イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成		・イスラーム教の成立の経緯を理解し、またヨーロッパ世界の形成について、その特徴を多面的・多角的に考察する。 ・イスラーム化が中央アジア・南アジア、東南アジア、アフリカにもたらした変化について考察し、まとめる。 ・西ヨーロッパの社会や文化について、東ヨーロッパ世界の展開と比較し、考察する。 ・10世紀前半に東アジアで政権の交替があいついだ背景や、そこで成立した諸国の共通点を、モンゴル帝国の成立から解体までも視野に入れ、多面的・多角的に考察し表現する。 ・モンゴル帝国解体後のアジア各地の状況について理解し、16世紀に一体化が始まった「世界」の性格を多面的・多角的に考察し表現する。 ・オスマン帝国とサファヴィー朝、ムガル帝国の興隆について類似点・相違点を念頭に多面的・多角的に考察し、また清代の中国と隣接諸地域について理解する。					
	第6章	イスラーム教の伝播と西アジアの動向							
	第7章	ヨーロッパ世界の変容と展開							
	第8章	東アジア世界の展開とモンゴル帝国							
	第9章	大交易・大交流の時代							
第10章	アジアの諸帝国の繁栄								
3 学期	第11章	近世ヨーロッパ世界の動向		・近世ヨーロッパ世界の動向について、宗教改革が多方面に与えた影響を考察し、表現する。 ・産業革命やアメリカ独立戦争やフランス革命が与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。					
	第12章	産業革命と環大西洋革命							

履修条件・ 注意事項等	文系、L A C は日本史探究との選択。3 年も世界史探究を継続履修となるのでよく考えて選択すること。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】2 学年選択者（文系、国際教養コース）
----------------	--

知識・技能

3 学 期	第7章 武家社会の成長	・南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。 ・庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。 ・庶民文化の萌芽や、応仁の乱を契機とした文化の地方伝播、戦国大名の保護による文化の地方普及を理解する。
	第8章 近世の幕開け	・織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について理解する。 ・江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を理解する。
	第9章 幕藩体制の成立と展開	・17世紀後半から18世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。 ・幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて考察する。 ・儒学の特色を理解し、その発達が他の学問に与えた影響を考察する。

履修条件・ 注意事項等	文系、LACは世界史探究との選択。3年も日本史探究を継続履修となるのでよく考えて選択すること。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】2学年選択者（文系、国際教養（LAC）コース）
----------------	--

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】(知識・技能):(思考力・判断力・表現力):(主体的に学習に取り組む態度)=4:4:2 【評価母集団1】2学年(理系全員) 【評価母集団2】2学年(文系全員) 【評価母集団3】2学年選択者(国際教養コース)
----------------	--

教科	数学	科目	数学B	単位数	1単位	学年	2年	履修対象	文系LAC選択者
教科書・副読本		数学B Advanced（東京書籍）、PRIME 数学B（東京書籍）							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 数列について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟 思考力・判断力・表現力 数学を通じて、事象を数学的に考察し、数学的表現力を培う 主体的に学習に取り組む態度 数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					知識・技能 定期考査および小テスト 思考力・判断力・表現力 授業ノート、提出課題 主体的に学習に取り組む態度 授業への取り組み、発表等を総合的に判断				
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1学期	1章 数列 1節 数列		- 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めることができる。 - いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解している。						
2学期	2節 漸化式と数学的帰納法		漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。						
3学期	2節 漸化式と数学的帰納法		数学的帰納法について理解している。						
履修条件・注意事項等			【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝ 4：4：2 【評価母集団1】 2学年選択者(文系) 【評価母集団2】 2学年選択者(国際教養コース)						

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】(知識・技能):(思考力・判断力・表現力):(主体的に学習に取り組む態度)= 4 : 4 : 2 【評価母集団】2 学年理系
----------------	---

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】(知識・技能):(思考力・判断力・表現力):(主体的に学習に取り組む態度)=4:4:2 【評価母集団】2学年(理系、文系、国際教養コース)
----------------	--

教科	理 科	科目	化学基礎	単位数	2単位	学年	2年	履修対象	国際教養コース選択者
教科書・副読本		高等学校 化学基礎（数研出版） 新課程 Visual Select 化学基礎ノート（数研出版）							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め化学の基本的な原理・法則を理解する。 思考力・判断力・表現力 図やグラフを用いて問題解決をしたり、実験を通して得られた結果を整理分析する。 主体的に学習に取り組む態度 目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てる。					知識・技能 定期考査・小テスト・提出物等 思考力・判断力・表現力 定期考査・小テスト・提出物等 主体的に学習に取り組む態度 授業にとりくむ姿勢、演習問題に前向きに取り組む姿勢・提出物等				
期間	単 元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	第1編 物質の構成と 化学結合		① 物質の構成 日常生活の中にある物質の成り立ちや現象を理解し、自身の考えを適切に表現できること。 ② 物質の構成粒子 身の回りの物質が原子やイオンからできており、その構造を理解し、物質に関わる現象などを表現できること。 ③ 粒子の結合 物質によって粒子の種類や結合の仕方が異なることを理解し、物質の性質について表現できること。						
	第1編 物質の構成と 化学結合 第2編 物質の変化		③ 粒子の結合 ① 物質と化学反応式 原子やイオンは非常に小さく、モルというまとめた単位で表すことを理解し、モルを元に物質の量や化学変化の量的な関係を、取り扱うことができること。 ② 酸と塩基の反応 酸・塩基の性質を理解するとともに、中和反応を考えたり、量的な関係を考察できること。						
3 学期	第2編 物質の変化		② 酸と塩基の反応 ③ 酸化還元反応 酸化および還元の広い意味での定義を理解し、酸化還元反応およびその量的考えを表現できること。						
履修条件・注意事項等		理工系の大学・学部や工業系専門学校への進学を希望する場合、入学試験で「化学基礎・化学」を受験する必要があります。進学希望先の受験科目を調べておきましょう。 【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】 2学年国際教養コース選択者							

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝ 4：4：2 【評価母集団】 2学年文系
----------------	--

履修条件・ 注意事項等	1～2学期は「生物」の2単位を使い、4単位として「生物基礎」の授業を進め、2単位の履修を2学期中間考査で終了する。2学期中間考査以降は「生物」の2単位を使い、4単位として「生物基礎」の授業を進める。
----------------	---

	：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４ ：４：２ 【評価母集団】２学年理系生物選択者
--	--

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝ 4：4：2 【評価母集団】 2学年理系物理選択者
----------------	---

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2単位	学年	2年	履修対象	LAC
教科書・副読本		高等学校 生物基礎（啓林館） ESSENCE NOTE 生物基礎(啓林館)、ニューステージ生物図表(浜島書店)							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 生物の多様性を踏まえつつ、生物に共通する概念や原理・法則を理解する。					知識・技能 定期考査・小テスト・提出物等				
思考力・判断力・表現力 図やグラフを用いて問題解決をしたり、実験を通して得られた結果を整理分析する。					思考力・判断力・表現力 定期考査・小テスト・提出物等				
主体的に学習に取り組む態度 授業・観察・実験等を通して生物や生命現象を論理的に探究する能力と態度を育てる。					主体的に学習に取り組む態度 探求課題に取り組む姿勢・提出物等				
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	第1章 生物の特徴 第1節 生物の共通性と多様性		生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解し、細胞および生物の構造について学ぶ。 探究課題①生物には共通性はあるのだろうか 探究課題②原核生物と真核生物の特徴から、起源について考えよう 生物の活動に必要なエネルギーの出入りと、生物に必要な物質の合成や分解について学ぶ。 探究課題③エネルギーはどのようにして生命活動に利用されているのか						
	第2節 生物とエネルギー								
	第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝情報とDNA		遺伝情報をになう物質としてのDNAの特徴について理解する。 DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解する。 探究課題④ DNA はどのような構造をしているのだろうか 探究課題⑤ DNA 複製の様子 DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解する。						
	第2節 遺伝情報とタンパク質の合成								
2 学期	第3章 神経系と内分泌系による調節 第1節 情報の伝達 第2節 体内環境の維持のしくみ 第4章 免疫 第1節 免疫の働き		体内環境の恒常性が保たれているしくみを理解する 体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解する。 探究課題⑥ 心拍数が上がるということはどういうことか 探究課題⑦ 血糖濃度の調節にはどのような経路が働いているのか 免疫とそれにかかわる物質や細胞の働きについて理解する。 探究課題⑧ 予防接種をすると、なぜ病気を防ぐことができるのか						
3 学期	第5章 植生と遷移 第1節 植生と遷移		陸上には様々な植生が見られ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解する。 探究課題⑨ 植生の変化は光環境や土壌をどのように変化させたか 探究課題⑩ 気候が異なると極相はどのように変わるのだろうか 気候に適応した様々なバイオームが成立していることとその特徴を学ぶ 生態系のバランスについての理解と生態系保全の重要性を認識する。 探究課題⑪ 生態系の上位の生物がいなくなるとどうなるのだろうか 探究課題⑫ 人間の活動は生態系にどのような影響を与えるのか						
	第6章 生態系とその保全 第1節 生態系と生物の多様性 第2節 生態系のバランスと保全								

履修条件・注意事項等	【観点別評価】
	（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2
	【評価母集団】 2学年国際教養コース

教科	理 科	科目	生 物	単位数	2 単位 (4 単位)	学年	2 年	履修対象	理系生物選択者
教科書・副読本		高等学校 生物（啓林館）セミナー生物基礎＋生物(第一学習社)、 ニューステージ生物図表(浜島書店)							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 生物の多様性を踏まえつつ、生物に共通する概念や原理や法則を理解する。 思考力・判断力・表現力 図やグラフを用いて問題解決をしたり、実験を通して得られた結果を整理分析する。 主体的に学習に取り組む態度 観察、実験、演習を通して生物や生命現象を論理的に探究する能力と態度を育てる。					知識・技能 定期考査・小テスト・提出物等 思考力・判断力・表現力 定期考査・小テスト・提出物等 主体的に学習に取り組む態度 探求課題に取り組む姿勢・提出物等				
期間	単 元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期									
2 学期	第1部 生物の進化 第1章 生物の進化 第2章 有性生殖と遺伝的多様性 第3章 進化のしくみ		（二学期中間考査以降） 生命の起源と生物進化の道筋について学び、生物進化がどのようにして起こるのかを理解する。 探究1 生物を構成する物質はどのようにして生じたのか 減数分裂による遺伝子の分配と受精により、遺伝的に多様な組み合わせをもつ子が生じることを理解するとともに、遺伝子の連鎖と組換えについても理解する。 探究2 親のもつ遺伝子の組み合わせは、どのように子に伝わるのか 進化がどのように裏づけられ、そのしくみがどのように説明されているかを学ぶ。 探究3 塩基配列が変化すると形質はどのように変化するだろうか						
3 学期	第4章 生物の系統 第2部 生命現象と物質 第5章 生命と物質 第6章 代謝 第3部 遺伝情報の発現と発生 第7章 遺伝現象と物質		生物の分類の方法、系統を明らかにする方法、現在明らかになっている生物の系統について学ぶ。 探究4 系統樹の作成 細胞小器官や細胞の働きとタンパク質の働きを理解する。 探究5 タンパク質はどのような性質をもっているだろうか 光合成によって光エネルギーを用いて有機物がつくられ、呼吸によって有機物からエネルギーが取り出されるしくみを理解する。 探究6 呼吸の過程でグルコースからどのようにATPが合成されるか 植物は光エネルギーをどのように利用し有機物を合成するか DNAの構造、遺伝情報の複製・転写・翻訳のしくみ、そして遺伝子発現の調節を学ぶ。 探究7 タンパク質はどのようなしくみで合成され、遺伝子はどのようなときに発現しているのか						

履修条件・ 注意事項等	理系選択科目であり、理学部生物学科や農学部、医療看護系大学進学を考えている者は履修が望ましい。1～2学期は「生物」の2単位を使い、4単位として「生物基礎」の授業を進め、2単位の履修を2学期中間検査で終了する。2学期中間検査以降は「生物基礎」の授業は「生物」を行う。【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2【評価母集団】2学年理系生物選択者
----------------	--

履修条件・
注意事項等

教科	理科	科目	物理	単位数	2単位	学年	2年	履修対象	理系物理選択
教科書・副読本		物理(数研出版) リードα物理・物理基礎(数研出版)							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 自然現象を理解し、現象の量的な関係や、時間・空間的な変化から規則性を捉えることができる。 思考力・判断力・表現力 自然の規則性をもとに、実験観察に取り組み、結果から様々な考察ができる。またそれを様々な現象に応用できる。 主体的に学習に取り組む態度 自然の規則性の理解、現象に対する考察を主体的・科学的に探究することができる。					知識・技能 定期考査・小テスト・提出物等 思考力・判断力・表現力 定期考査・実験レポート・提出物等 主体的に学習に取り組む態度 授業にとりくむ姿勢、演習問題に前向きに取り組む姿勢等				
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1学期	第1編 力と運動		①平面内の運動：平面運動の速度・加速度 落体の運動 物理基礎で学習した直線運動の速度・加速度を、平面運動ではベクトルを用いて理解する。放物運動においては速度を水平・鉛直成分に分解することで、運動を理解する。 ②剛体：剛体にはたらく力 合力と重心 剛体にはたらく力の効果は、大きさと向きのほかに、作用点の位置により決まることを理解する。モーメントのつり合いを用いて剛体の重心や、傾く条件などを理解する ③運動量の保存：運動量と力積 運動量保存則 反発係数 運動方程式から運動量の変化は力積に等しいことを導く。直線上の運動量保存則を理解し、ベクトルを用いて平面内でも保存することを理解する。反発係数が衝突前後の相対速度の比であることを理解する。						
	2学期	第1編 力と運動	④円運動と万有引力：等速円運動 慣性力 単振動 万有引力 等速円運動を半径、速さ、角速度、回転数、周期などを用いて表す。円錐振り子や回転台の上の物体など、具体的な等速円運動の例について、運動方程式を立てることができる。慣性系と非慣性系について理解する。等速円運動をする物体の直径への正射影の運動が単振動であることを理解し、単振動の関係式を表す。ケプラーの法則と運動方程式から万有引力の法則を導く。						
第2編 熱と気体		①気体のエネルギーと状態変化：気体の法則 気体分子の運動 気体の状態変化 気体分子の運動を力学的に扱って、気体の圧力の式を導く。熱力学第一法則を用いて、気体の定積変化・定圧変化・等温変化・断熱変化について理解する。							
第3編 波		①波の伝わり方：波と媒質の運動 正弦波の式 波の伝わり方 波を表す要素である振幅、周期、振動数、波長、速さについて理解する。単振動の式から正弦波の一般式を導く。ホイヘンスの原理から波の屈折・反射・回折を理解する。							
3学期	第3編 波		②音の伝わり方：音の伝わり方 音のドップラー効果 音波の反射・回折・干渉について理解する。波源と観測者が相対的に運動しているときに、観測者が受け取る振動数は波源本来の振動数とは異なることを導く。						

履修条件・注意事項等	【観点別評価】(知識・技能):(思考力・判断力・表現力):(主体的に学習に取り組む態度)=4:4:2
	【評価母集団】 2学年理系物理選択者 理工系の大学・学部や工業系専門学校への進学を希望する場合、入学試験で「物理基礎・物理」を受験する必要があります。進学希望先の受験科目を調べておきましょう。

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2 単位	学年	2 年	履修対象	全員
教科書・副読本		新高等保健体育（大修館）							
育成する資質・能力						評価の方法			
知識・技能 運動の多様性や体力の必要性について理解する能力 各運動の技能 思考力・判断力・表現力 自己や仲間の考えたことを他者に伝える力 主体的に学習に取り組む態度 一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲 生涯にわたって継続して運動に親しむ態度						知識・技能 実技試験 思考力・判断力・表現力 各運動における競技力向上のための探究活動 主体的に学習に取り組む態度 授業への取り組み グループ活動（試合形式やグループ練習）			
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	A 体づくり運動		・自他の心と体に向き合って、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、心と体をほぐしたり、体の動きを高める方法を学んだりすることができる。 ・選択した泳法について、自己の改善すべきポイントを見付けることができる。健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選ぶことができる。 ・提供された作戦や戦術から自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選ぶことができる。仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘することができる。						
	D 水泳								
	E 球技								
2 学期	E 球技		・提供された作戦や戦術から自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選ぶことができる。仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘することができる。 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できるようにする。						
	H 体育理論								
3 学期	C 陸上競技		・目標タイムを達成するペースを自己の技能・体力の程度に合わせて設定し、そのペースに応じたスピードを維持して走る。 ・作戦などの話合いの場面で、合意を形成するための適切なかかわり方を見付けることができる。健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選ぶことができる。球技を継続して楽しむための自己に適したかかわり方を見付けることができる。						
	E 球技								
履修条件・注意事項等			学校指定体操服・水着の着用 【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】 2 学年全員（理系、文系、国際教養コース）						

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1 単位	学年	2 年	履修対象	全員
教科書・副読本		新高等保健体育、図説新高等保健							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 個人及び社会生活における健康・安全についての知識・技能 思考力・判断力・表現力 合理的、計画的な解決に向けての思考力、判断力 目的や状況に応じて他者に伝える力 主体的に学習に取り組む態度 明るく豊かで活力ある生活を営む態度					知識・技能 定期テスト 思考力・判断力・表現力 授業ノート・探究活動 主体的に学習に取り組む態度 授業への取り組み、発表等を総合的に判断				
期間	単元			主な学習活動（指導内容）と評価のポイント					
1 学期	3 単元 生涯を通じる健康 1 思春期と健康 2 性意識の変化と性行動の選択 3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康 5 家族計画 6 加齢と健康			・思春期における心身の発達や性的成熟、健康課題について理解する。 ・自分の行動への責任感や異性への理解と尊重、性情報への適切な対処について理解する。 ・健康生活と健康の関係について理解する。 ・受精から出産の過程と健康課題、活用できる保健サービスについて理解する。 ・家族計画の意義や避妊法、人工妊娠中絶について理解する。 ・加齢による心身の変化や、高齢期の健康課題について理解する。					
	7 高齢社会に対応した取り組み 8 働くことと健康 9 労働災害の防止 10 働く人の健康づくり			・高齢社会における健康課題や社会の取り組みについて理解する。 ・働くことの意義と働き方の多様化や人々の健康課題について理解する。 ・労働災害の要因や防止するための様々な取り組みについて理解する。 ・職場での健康づくり活動や働く人の生活の質の向上の重要性を理解する。 ・大気汚染による健康への影響や地球規模での大気汚染について理解する。 ・水質汚濁、土壌汚染による健康への影響を理解する。 ・環境汚染による健康への影響や産業廃棄物の処理や新たな環境汚染について考える。 ・上下水道の整備とごみ処理について現状と今後の課題を考察する。 ・食品の安全性の重要性を理解する。					
2 学期	4 単元 健康を支える環境づくり 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁・土壌汚染と健康 3 健康被害を防ぐための環境対策 4 環境衛生にかかわる活動 5 食品の安全性と健康			・食品の安全性を確保するための行政の働きや消費者の果たす役割について理解する。 ・保健行政の役割、保健サービスの適切な活用について理解する。 ・医療保険の仕組みや適切な活用方法について理解する。 ・医薬品の販売規制や使用法についての知識を理解する。 ・国際機関でのさまざまな保健活動について理解する。 ・健康の保持増進には環境づくりが重要であることを理解する。					
	6 食品の安全性を確保する取り組み 7 保健制度とその活用 8 医療制度とその活用 9 医薬品の制度とその活用 10 様々な保健活動や対策 11 誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり								

履修条件・ 注意事項等	予習復習を必ず行う。 課題を忘れずにやる。 授業に集中し、主体的に取り組む。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】2学年全員（理系、文系、国際教養コース）
----------------	--

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝ 4：4：2 【評価母集団】2年生文系選択者
----------------	---

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】2学年選択者（理系、文系、国際教養コース）
----------------	---

教科	芸術	科目	美術 I	単位数	2 単位	学年	2 年	履修対象	選択者
教科書・副読本		美術 I（光村図書）							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 ・造形的な見方・考え方を深める。 ・様々な表現・技法・色彩について、理解を深め、習得する。 思考力・判断力・表現力 ・発想や構想に関する資質・能力を育む。 ・発想し、構想した経験を鑑賞に活かす力を育む。 主体的に学習に取り組む態度 ・表現や鑑賞について主体的に取り組む。 ・美術を愛好する心情や豊かな感性を育む。					知識・技能 ワークシート 思考力・判断力・表現力 実技・作品 主体的に学習に取り組む態度 提出物、授業態度				
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	鑑賞「教科書」 平面表現「改造絵」		・教科書に一通り目を通すことで、絵画・彫刻・デザイン・映像、メディア表現について、知見を深める。 ・様々な美術作品を見ることによって、自分の美的好奇心について考える。 ・表現の意図や工夫について考え、発想力・アレンジ力を高める。 ・自分に合った表現方法を見つけていく。 ・アクリル絵具の特性、用具の使い方について理解を深め、習得する。 ・鑑賞・合評を通して、プレゼンテーション力を鍛える。自分や他者の良さ、個性について考える。						
2 学期	立体表現「教室の 1 コマ」 絵画表現「野外スケッチ」 映像表現「自己紹介 PV」		・立体造形における発想力・構成力を鍛える。 ・空間表現について考える。 ・粘土を使って、人物像の表情・動き・量感など学ぶ。 ・鑑賞・合評を通して、様々な造形的な良さ・美しさを学ぶ。 ・木や草などの自然物や、校舎などの人工物の描写方法を学ぶ。 ・様々な遠近法・透視図について学ぶ。 ・スケッチを通して、自分なりの視点を学び、観察力を深める。 また、じっくりと細部を観察することで、新しい気づき、新鮮な驚きを得、普段見落としがちな風、音、気配といった五感を高める。 ・鑑賞・合評を通して、様々な表現方法、発想力を学ぶ。 ・原案、脚本、演出、演技、編集といった、映像表現に関する一連の流れを学び、映像とは何かについて考える。 ・iPad を使って、編集や効果音など特殊な技術について、個々の必要に応じて学ぶ。 ・映像におけるチームワークについて学ぶ。						
3 学期	造形表現「自分のコピー」 鑑賞		・外面のコピー、内面のコピー、様々な角度から自己探求し、自分の個性、他人の個性について改めて考える機会とする。 ・等身大の大作を制作することによって、様々な課題を見つけ、それを 1 つずつ解決する力を身に付ける。 ・造形表現、造形活動とはについて振り返り、考える契機とする。 ・1 年間に制作した作品を振り返ることで、「自分なりの表現」「アートとは何か」「何のために美術の授業はあるのか」「多様性」について考え、これからの社会の有り様、自分の将来について考える。						
履修条件・注意事項等		【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝ 4 ： 4 ： 2 【評価母集団】 2 学年選択者（理系、文系、国際教養コース）							

履修条件・ 注意事項等	物品購入が必要（R7年度は1,900円） 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】2学年選択者（理系、文系、国際教養コース）
----------------	--

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4 単位	学年	2 年	履修対象	一般
教科書・副読本		『FLEX ENGLISH COMMUNICATION Ⅱ』（増進堂） 『英単語 Stock4500』（文英堂）							
育成する資質・能力							評価の方法		
知識・技能 受け身の不定詞や複合関係代名詞など、本書で学習する文法に加えて、語彙や表現などの用法や意味を理解することができる。また、報告文や新聞記事などの多様な英文から情報を読み取り、整理しながら理解したり、自身の考えや意見を学習した語句や文を適切に活用して、発信したりすることができる。							知識・技能 定期考査		
思考力・判断力・表現力 日常的、社会的な話題の説明を聞いたり読んだりして、情報や考えなどの概要や要点を的確に捉えることができる。また、教科書で学習した内容について、自身の考えや意見を明確な理由や根拠とともに、詳しく伝えることができる。							思考力・判断力・表現力 定期考査 パフォーマンステスト グループワーク・発表・報告		
主体的に学習に取り組む態度 日常的、社会的な話題についての内容を理解しようとすることができる。また、学習した内容を相手に配慮しながら、主体的に伝えようとすることができる。理解した情報ややり取りをした内容について効果的な理由や根拠とともに、まとまりのある文章を書こうとすることができる。							主体的に学習に取り組む態度 課題考査 英単語小テスト 提出物		
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	Lesson1		- 導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 - 語句の意味および発音を定着させる。 「アニメ聖地巡礼」とは何なのかを理解させる。 - アニメ『らき☆すた』が聖地となった場所にどんな影響をもたらしたのかを読み取らせる。 「アニメ聖地巡礼者」が地域に引き起こす問題について読み取らせる。 - アニメと地域の結びつきがどのような影響をもたらすのか、また今後「アニメ聖地巡礼」に期待される効果とはどのようなものかを読み取らせる。 「受け身の不定詞」「受け身の進行形」の表現を理解させる。 - 自分のお気に入りの作品の聖地について情報を集めさせ、ペア同士で紹介させる。 - 速読しながら、True or Falseを解かせる。						
	Lesson2		- 導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 - 語句の意味および発音を定着させる。 - 岩谷圭介氏が行うふうせん宇宙撮影とはどのようなものなのかを理解させる。 - 岩谷氏がふうせん宇宙撮影を始めたきっかけを読み取らせる。 - 岩谷氏のこれまでの実験内容について読み取らせる。 - 岩谷氏の夢を追求する姿勢と彼の若者へのメッセージを読み取らせる。 「助動詞＋完了形」「受け身の完了形」の表現を理解させる。 - 日本人が発明したものでプラスの効果をもたらしたと思うものとマイナスの効果をもたらしたと思うものを選び、ペアで話し合わせる。 - 速読しながら、True or Falseを解かせる。						
	Lesson3		- 導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 - 語句の意味および発音を定着させる。 - 塩は私たちの生活においてどのような役割をしているかを理解させる。 - 食料を保存するという塩の役割が歴史的にどのように扱われたかを読み取らせる。						

	Lesson4	・塩に関することわざや宗教的な塩の役割について理解させる。 ・現代の生活における塩の役割の変化について読み取らせる。 ・「If節のない仮定法」「動名詞の意味上の主語」の表現を理解させる。 ・長年使用されているアイテムとその役割についてグループで話し合わせる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。 ・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・ウミガメのからだの特徴について理解させる。 ・ウミガメの移住と産卵について理解させる。 ・赤ちゃんウミガメや大人のウミガメが直面している問題について読み取らせる。 ・ウミガメを救うために私たちができることについて理解させる。 ・「as ifを用いた仮定法」「疑問詞+to do」の表現を理解させる。 ・製品に使用するために狩猟された動物の情報を調べさせ、その内容を表にまとめたり英文を書かせたりさせる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。
2 学 期	Lesson5	・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・ヒューストン空港での待ち時間の事例について読み取らせる。 ・待ち時間の心理状態とそれを考慮した生活の中の工夫について読み取らせる。 ・待ち時間に対する期待が与える心理的影響について読み取らせる。 ・待ち時間に対する公平さについて読み取らせる。 ・「同格を導く接続詞 that」「関係副詞の非制限用法」の表現を理解させる。 ・不快に感じる公共または商業サービスや校則についてペアで意見を共有させ、解決策を考えさせる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。
	Lesson6	・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・ヒューマンライブラリーとは何なのかを理解させる。 ・失読症を抱える人のエピソードを読み取らせる。 ・失業してホームレスになった人のエピソードを読み取らせる。 ・ヒューマンライブラリーから学ぶ共生社会で生きる上で必要なことについて読み取らせる。 ・「否定の分詞構文」「完了形の不定詞」を理解させる。 ・様々な立場の人々から自分が知りたい内容を一つ選んで調べさせ、説明させる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。
	Lesson7	・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・災害時の避難所の状況と坂茂氏が設計する建築とはどのようなものなのかを理解させる。 ・坂氏が被災者を助けるための建築を志したきっかけを読み取らせる。 ・坂氏がこれまでに被災地で行ってきた活動とその功績が称えられたことについて読み取らせる。 ・坂氏の今後のプロジェクトと若者へのメッセージを読み取らせる。 ・「部分否定」「If S' were to V'、S would V」の表現を理解させる。 ・避難所の課題をペアで話合わせ、自分で考えた改善策をペアで共有

	Lesson8	させたり発表させたりする。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。 ・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・インフルエンザとかぜの違いについて理解させる。 ・バクテリアとウイルスのそれぞれのしくみについて理解させる。 ・エドワード・ジェンナーによるワクチン開発の歴史について読み取らせる。 ・感染症が広まった歴史と今後人類が感染症とどう向き合っていくかについて読み取らせる。 ・「付帯状況の with」「受け身の分詞構文」の表現を理解させる。 ・感染症の過去のデータから読み取れる特徴をグループで話し合わせる。 ・どの感染症が最も感染力があるかを調べさせ、効率的な予防策をグループで話し合わせたり、インターネット上で感染症予防ポスターを調べさせ、発表させたりする。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。
3 学 期	Lesson9	・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・コンゴ共和国の実情とサプールとは何かを理解させる。 ・サプールの精神とは何なのか、またそれによって人生が変わった一人の若者の例を読み取らせる。 ・サプールの歴史とサプールが影響を与えた世界的デザイナーについて読み取らせる。 ・サプールの信念について読み取らせる。 ・「倒置」「完了形の分詞構文」の表現を理解させる。 ・各ファッションの背景にある歴史や社会情勢、哲学を理解させ、ファッションが社会とどう関連しているか話し合わせる。 ・興味のあるファッションについて調べさせ、説明させる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。
	Lesson10	・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・Googleを生み出したラリー・ページという人物について理解させる。 ・ラリー・ページがどのように Google のアイデアを思いついたのかについて読み取らせる。 ・リーダー養成プログラムで学んだ夢の実現するためのスローガンと夢をもつことに対するラリー・ページの考えを読み取らせる。 ・Google を設立するうえでの苦労とラリー・ページの夢を実現するためのアドバイスを読み取らせる。 ・「複合関係代名詞」「二重否定（肯定の意味を表す）」を理解させる。 ・ラリー・ページの経歴を整理させ、「不可能と思われることを良い意味で無視」するうえで重要だった場面をグループで話し合わせる。 ・自分自身の「不可能と思われることを良い意味で無視」することを考え、自分ができることと達成したいことを挙げさせ、発表させる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。
履修条件・注意事項等		【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝ 3：4：3 【評価母集団】2 学年一般クラス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4単位	学年	2年	履修対象	LAC
教科書・副読本		『FLEX ENGLISH COMMUNICATION Ⅱ』（増進堂） 『英単語 Stock4500』（文英堂）							
育成する資質・能力						評価の方法			
知識・技能 受け身の不定詞や複合関係代名詞など、本書で学習する文法に加えて、語彙や表現などの用法や意味を理解することができる。また、報告文や新聞記事などの多様な英文から情報を読み取り、整理しながら理解したり、自身の考えや意見を学習した語句や文を適切に活用して、発信したりすることができる。						知識・技能 定期考査			
思考力・判断力・表現力 日常的、社会的な話題の説明を聞いたり読んだりして、情報や考えなどの概要や要点を的確に捉えることができる。また、教科書で学習した内容について、自身の考えや意見を明確な理由や根拠とともに、詳しく伝えることができる。						思考力・判断力・表現力 定期考査 パフォーマンステスト グループワーク・発表・報告			
主体的に学習に取り組む態度 日常的、社会的な話題についての内容を理解しようとするすることができる。また、学習した内容を相手に配慮しながら、主体的に伝えようとするすることができる。理解した情報ややり取りをした内容について効果的な理由や根拠とともに、まとまりのある文章を書こうとすることができる。						主体的に学習に取り組む態度 課題考査 英単語小テスト 提出物			
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1学期	Lesson1		- 導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 - 語句の意味および発音を定着させる。 「アニメ聖地巡礼」とは何なのかを理解させる。						
	Lesson2		- アニメ『らき☆すた』が聖地となった場所にどんな影響をもたらしたのかを読み取らせる。 「アニメ聖地巡礼者」が地域に引き起こす問題について読み取らせる。 - アニメと地域の結びつきがどのような影響をもたらすのか、また今後「アニメ聖地巡礼」に期待される効果とはどのようなものかを読み取らせる。 「受け身の不定詞」「受け身の進行形」の表現を理解させる。 - 自分のお気に入りの作品の聖地について情報を集めさせ、ペア同士で紹介させる。 - 速読しながら、True or Falseを解かせる。						
	Lesson3		- 導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 - 語句の意味および発音を定着させる。 - 岩谷圭介氏が行うふうせん宇宙撮影とはどのようなものなのかを理解させる。 - 岩谷氏がふうせん宇宙撮影を始めたきっかけを読み取らせる。 - 岩谷氏のこれまでの実験内容について読み取らせる。 - 岩谷氏の夢を追求する姿勢と彼の若者へのメッセージを読み取らせる。 「助動詞＋完了形」「受け身の完了形」の表現を理解させる。 - 日本人が発明したものでプラスの効果をもたらしたと思うものとマイ						

	Lesson4	ナスの効果をもたらしたと思うものを選び、ペアで話し合わせる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。 ・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・塩は私たちの生活においてどのような役割をしているかを理解させる。 ・食料を保存するという塩の役割が歴史的にどのように扱われたかを読み取らせる。 ・塩に関することわざや宗教的な塩の役割について理解させる。 ・現代の生活における塩の役割の変化について読み取らせる。 ・「If節のない仮定法」「動名詞の意味上の主語」の表現を理解させる。 ・長年使用されているアイテムとその役割についてグループで話し合わせる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。 ・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・ウミガメのからだの特徴について理解させる。 ・ウミガメの移住と産卵について理解させる。 ・赤ちゃんウミガメや大人のウミガメが直面している問題について読み取らせる。 ・ウミガメを救うために私たちができることについて理解させる。 ・「as ifを用いた仮定法」「疑問詞+to do」の表現を理解させる。 ・製品に使用するために狩猟された動物の情報を調べさせ、その内容を表にまとめたり英文を書かせたりさせる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。
2 学 期	Lesson5	・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・ヒューストン空港での待ち時間の事例について読み取らせる。 ・待ち時間の心理状態とそれを考慮した生活の中の工夫について読み取らせる。 ・待ち時間に対する期待が与える心理的影響について読み取らせる。 ・待ち時間に対する公平さについて読み取らせる。 ・「同格を導く接続詞 that」「関係副詞の非制限用法」の表現を理解させる。 ・不快に感じる公共または商業サービスや校則についてペアで意見を共有させ、解決策を考えさせる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。
	Lesson6	・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・ヒューマンライブラリーとは何なのかを理解させる。 ・失読症を抱える人のエピソードを読み取らせる。 ・失業してホームレスになった人のエピソードを読み取らせる。 ・ヒューマンライブラリーから学ぶ共生社会で生きる上で必要なことについて読み取らせる。 ・「否定の分詞構文」「完了形の不定詞」を理解させる。
	Lesson7	・様々な立場の人々から自分が知りたい内容を一つ選んで調べさせ、説明させる。

	る。 ・Google を設立するうえでの苦労とラリー・ページの夢を実現するためのアドバイスを読み取らせる。 ・「複合関係代名詞」「二重否定（肯定の意味を表す）」を理解させる。 ・ラリー・ページの経歴を整理させ、「不可能と思われることを良い意味で無視」するうえで重要だった場面をグループで話し合わせる。 ・自分自身の「不可能と思われることを良い意味で無視」することを考え、自分ができることと達成したいことを挙げさせ、発表させる。 ・速読しながら、True or False を解かせる。
--	---

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝ 3 : 4 : 3 【評価母集団】 2 学年 LAC
----------------	--

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅱ	単位数	2単位	学年	2年	履修対象	文系・理系
教科書・副読本		『be ENGLISH Logic and ExpressionⅡ Smart』						いづな書店	
育成する資質・能力				評価の方法					
知識・技能 情報や考えを、目的や場面、状況に応じて適切に表現する力				知識・技能 定期考査 英語特有の文法や定型表現を理解し、適切に使うことができるか。					
思考力・判断力・表現力 論理の構成や展開を工夫しながら、情報や考えをわかりやすく伝える力				思考力・判断力・表現力 パフォーマンステスト・定期考査 論理の構成や展開を工夫しながら、情報や考えをわかりやすく伝えることができるか。					
主体的に学習に取り組む態度 主体的自律的に英語とその背景文化を学び、運用していく力				主体的に学習に取り組む態度 小テスト・課題 主体的自律的に新たな表現を学び、聞き手読み手に配慮しながらそれらを積極的に使って表現しているか。					
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	Lesson 1		① 将来の夢や目標について具体的な理由を挙げながら説明し、それを実現させるために何をするべきなのか述べることができる。 ② ①につき、様々な時制を用いて述べることができる。						
	Lesson 2		① 自宅での有意義な時間の過ごし方についての提案を、具体的な理由を挙げながら説明し、聞き手・読み手に勧めることができる。 ② ①につき、様々な名詞句や名詞節を用いて述べることができる。						
	Lesson 3		学校生活での出来事について、様々な形の助動詞を用いながら明瞭かつ具体的に説明することができる。						
	Lesson 4		① 自らの体験から学んだことについて、文と文のつながりを意識しながら述べることができる。 ② ①につき、分詞や形容詞を用いながら表現力豊かに述べることができる。						
	Lesson 5		① 現代社会の利便性について具体例を挙げながら説明し、それらについての意見を理由とともに述べることができる。 ② ①につき、形容詞句を用いながら述べることができる。						
	Lesson 6		① ニュースやインターネットで得た情報について紹介し、それらについての自分の意見や考えを理由とともに述べることができる。 ② ①につき関係詞を用いて具体的かつ明瞭に述べることができる。						
2 学期	Lesson 7		① 多言語社会や外国語教育についての意見や考えを、現代社会の現状を鑑みつつ述べることができる。 ② ①につき、様々な副詞を用いながら述べることができる。						
	Lesson 8		① 幸せについての体験や考えについて具体的な例や理由を挙げながら説明することができる。 ② ①につき、副詞句を用いて分かりやすく述べることができる。						
	Lesson 9		① リーダーシップに必要な資質についての意見や考えを、具体例や理由を挙げながら述べることができる。 ② ①につき、副詞節を用いて論理的に述べることができる。						
	Lesson 10		形容詞や副詞の比較表現を用いて、日本を紹介することができる。						

3 学 期	Lesson 1 1	①革新的技術によってもたらされる変化やそれらの有用性について具体的な例や理由を挙げながら説明し、自分の意見を述べることができる。 ②①につき、様々な仮定法を用いて述べることができる。
	Lesson 1 2	①社会の多様性についての考えや意見を具体例や理由を挙げながら述べることができる。 ②①につき、様々な仮定法現在を用いて述べることができる。
	Lesson 1 3	①外国人観光客に、お勧めの観光地やアクティビティなどについて具体的に説明することができる。 ②①につき、場所や人、変化、費用や時間を表す表現を用いて述べる ことができる。
3 学 期	Lesson 1 4	①健康によい食習慣について、具体例や理由を挙げながら説明し、 そのような食生活を送るよう説得することができる。 ②①につき、使役動詞や知覚動詞を用いて述べる ことができる。
	Lesson 1 5	①世界的な問題を提示し、その解決策について議論することができる。 ②①につき、名詞構文などの英語らしい表現を用いて、明瞭かつ論 理的に伝えることができる。

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝3：4：3 【評価母集団】2年一般クラス
----------------	---

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅱ	単位数	2単位	学年	2年	履修対象	LAC
教科書・副読本		『be ENGLISH Logic and ExpressionⅡ Smart』						いっずな書店	
育成する資質・能力				評価の方法					
知識・技能 情報や考えを、目的や場面、状況に応じて適切に表現する力				知識・技能 定期考査 英語特有の文法や定型表現を理解し、適切に使うことができるか。					
思考力・判断力・表現力 論理の構成や展開を工夫しながら、情報や考えをわかりやすく伝える力				思考力・判断力・表現力 パフォーマンステスト・定期考査 論理の構成や展開を工夫しながら、情報や考えをわかりやすく伝えることができるか。					
主体的に学習に取り組む態度 主体的自律的に英語とその背景文化を学び、運用していく力				主体的に学習に取り組む態度 小テスト・課題 主体的自律的に新たな表現を学び、それらを使って聞き手読み手に配慮しながら表現しているか。					
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	Lesson 1		① 将来の夢や目標について具体的な理由を挙げながら説明し、それを実現させるために何をするべきなのか述べることができる。 ② ①につき、様々な時制を用いて述べることができる。						
	Lesson 2		① 自宅での有意義な時間の過ごし方についての提案を、具体的な理由を挙げながら説明し、聞き手・読み手に勧めることができる。 ② ①につき、様々な名詞句や名詞節を用いて述べることができる。						
	Lesson 3		学校生活での出来事について、様々な形の助動詞を用いながら明瞭かつ具体的に説明することができる。						
	Lesson 4		① 自らの体験から学んだことについて、文と文のつながりを意識しながら述べることができる。 ② ①につき、分詞や形容詞を用いながら表現力豊かに述べることができる。						
	Lesson 5		① 現代社会の利便性について具体例を挙げながら説明し、それらについての意見を理由とともに述べることができる。 ② ①につき、形容詞句を用いながら述べることができる。						
	Lesson 6		① ニュースやインターネットで得た情報について紹介し、それらについての自分の意見や考えを理由とともに述べることができる。 ② ①につき関係詞を用いて具体的かつ明瞭に述べることができる。						
2 学期	Lesson 7		① 多言語社会や外国語教育についての意見や考えを、現代社会の現状を鑑みつつ述べることができる。 ② ①につき、様々な副詞を用いながら述べることができる。						
	Lesson 8		① 幸せについての体験や考えについて具体的な例や理由を挙げながら説明することができる。 ② ①につき、副詞句を用いて分かりやすく述べることができる。						
	Lesson 9		① リーダーシップに必要な資質についての意見や考えを、具体例や理由を挙げながら述べることができる。 ② ①につき、副詞節を用いながら論理的に述べることができる。						
	Lesson 10		形容詞や副詞の比較表現を用いて、日本を紹介することができる。						

3 学 期	Lesson 1 1	①革新的技術によってもたらされる変化やそれらの有用性について具体的な例や理由を挙げながら説明し、自分の意見を述べることができる。 ②①につき、様々な仮定法を用いて述べることができる。
	Lesson 1 2	①社会の多様性についての考えや意見を具体例や理由を挙げながら述べることができる。 ②①につき、仮定法現在を用いて述べることができる。
	Lesson 1 3	①外国人観光客に、日本のお勧めの観光地やアクティビティなどについて詳細に説明することができる。 ②①につき、場所や人、変化、費用や時間を表す表現を用いて述べる ことができる。
3 学 期	Lesson 1 4	①健康によい食習慣について、具体例や理由を挙げながら説明し、 そのような食生活を送るよう他者を説得することができる。 ②①につき、使役動詞や知覚動詞を用いて述べる ことができる。
	Lesson 1 5	①世界的な問題を提示し、その解決策について議論することができる。 ②①につき、名詞構文などの英語らしい表現を用いて、明瞭かつ論 理的に伝えることができる。

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝3：4：3 【評価母集団】2年国際教養コース
----------------	---

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝3：4：3 【評価母集団1】2学年選択者（文系） 【評価母集団2】2学年選択者（国際教養コース）
----------------	--

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝ 3：4：3 【評価母集団】2 学年選択者（国際教養コース）
----------------	---

履修条件・ 注意事項等	ALT と合同で授業を行い、フランス語でのコミュニケーション活動を行う。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝ 3 ： 4 ： 3 【評価母集団】 2 学年選択者（国際教養コース）
----------------	---

教科	情報	科目	情報デザイン	単位数	2 単位	学年	2 年	履修対象	文系選択者	
教科書・副読本『情報デザイン』（実教出版）										
育成する資質・能力					評価の方法					
知識・技能 コンピュータによるデザインに関する基礎的な知識と技術を身につける。 思考力・判断力・表現力 情報の各分野に関する諸課題の解決を目指して思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を基に，情報産業に携わる者として適切に判断し，表現する創造的な能力を身につける。 主体的に学習に取り組む態度 問題意識，美的判断力，情報活用能力，企画・計画力を身につけ，上質なデザインを創造し，応用する能力と態度を育てる。					知識・技能 定期考査等 思考力・判断力・表現力 作品製作等 主体的に学習に取り組む態度 作品製作，作品制作に取り組む態度等					
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント							
1 学期	デザイン・情報・造形の基礎		✓	デザインが人間生活のさまざまな目的を達成するための合目的行為であることを理解する。						
			✓	有意義なデザインにするためには，見た目のよさだけにとらわれるのではなく，倫理観や社会的意識をもって，社会に及ぼす影響を考慮する姿勢が大切であることを理解する。						
			✓	人間どうしのコミュニケーションのはじまりはシンボルを共有するところから発展していったことを理解する。						
			✓	絵文字から表音文字，粘土板から紙，印刷技術による情報の伝達と共有が，人類に大きな力を与えていったことを理解する。						
	フォントデザイン実習		✓	情報が溢れる時代のなかで，情報の受け手としては必要な情報を選択し，送り手としてはわかりやすく表現し伝えることが必要であることを理解する。						
			✓	コミュニケーションモデルを理解し，表現の文脈に込められたメッセージを読み解く姿勢，送り手と受け手の間でどのような体験を共有できるかに配慮する姿勢が大切であることを理解する。						
	ピクトグラム作成実習		✓	街中にあふれるフォントのデザインを観察し，TPOに合わせたフォントの利用について把握する。						
			✓	フォントをデザインし，魅力的なフォントのデザインを考察する。						
	ピクトグラム作成実習		✓	世界中のピクトグラムを調査し，その特徴を捉え，デザインの抽象化について理解する。						
			✓	実際にピクトグラムを作成し，抽象化の意義を理解する。						
	デザインと表現		✓	造形の基礎となる5つの要素（形態・色・材質感・空間・時間）を分析し，把握する。						
			✓	基本形態（純粹形態）として点・線・面さらには立体・空間の造形的意味を理解する。						
			✓	色と光の関係，光の三原色，色料の三原色，色の三属性を理解する。						
			✓	材質感がさまざまな面で造形的効果にかかわることを理解する。						
2 学期			✓	造形物が内包する空間だけでなく，造形物を取り巻く空間，造形物と見る者との間の空間もまたデザインする上で考慮すべき要素であることを理解する。						
			✓	造形要素を時間的に変化させることで動きが表現され，そこからリズムなど時間的効果が生まれることを理解する。						

3 学 期		✓ 眼に見える物体だけではなく，人々の行動や社会現象など意識しないと見えてこない事象も観察の対象であることを理解する。 ✓ 自然物や人工物など対象物の構造や特徴を把握し，簡潔に表現するプロセスを理解する。 ✓ さまざまな表現技法を実験し，新たな表現方法を探る。 ✓ 変化や違いを見せるにはグラフ，見つけやすくするには一覧表，というようにデータから読み取れる意味，伝えるべき意味を判断して，受け手が理解しやすい適切なスタイルで表現すべきであることを理解する。
	デザインの実際	✓ ポスターやホームページ，3DCG等の作成を通して，デザインの重要性とその効果を理解する。
	情報デザイン演習	✓ 情報をよりよく理解してもらうための工夫のひとつとしてのインフォメーション・デザインの意義を理解する。

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝3：3：4 【評価母集団】2学年選択者（文系）
----------------	--